

# 週報



## 2016 年 年頭標語

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する  
天一国の真の主人になろう

## 2016 年 VISION

幸せな家庭 健康な教会  
国家と世界に貢献する統一運動

## 2016 年 活動指針

1. 理想家庭と心情共同体形成
2. 神氏族メシヤ活動強化
3. 二世圏活性化
4. 社会貢献と救国救世基盤造成

世界平和統一家庭連合

FAMILY FEDERATION for WORLD PEACE and UNIFICATION

加賀家庭教会

KAGA FAMILY CHURCH

教会長：石垣 重広

## み 言

### 『 チッポラの信仰 』

#### 【原理講論 P364～365】

モーセが神の命令を受けパロの前に行く途中で、主が現れてモーセを殺そうとされた。そのときモーセは、彼の妻チッポラがその男の子に割礼を施して許しを請うたおかげで、死を免れることができたのである(出エ四・24～26)。このように、モーセは割礼をもってその試練に勝利したため、彼の家族が生き残ったのであり、したがって、イスラエル民族がエジプトから出られるようになったのであるが、これもまた、将来イエスが来られたときに、イスラエルの民族が割礼の過程を経なくては、神の救いの摂理が成就されないということをも、前もって見せてくださったのである。

それでは、割礼がいかなる意味をもっているかということについて、調べてみることにしよう。人間始祖は、サタンと血縁関係を結ぶことによって、いわば、陽部を通じて死亡の血を受けたのであった。ゆえに、墮落した人間が、神の子女として復帰されるためには、その蕩滅条件として、陽部の皮を切って血を流すことにより、その死亡の血を流してしまったことを示す表示的条件として、割礼を行うようになったのである。それゆえに、この割礼の根本意義は、第一には、死亡の血を流してしまうという表示であり、第二には、男子の主管性を復帰するという表示であり、また第三には、本然の子女の立場を復帰するという約束の表示でもあるのである。ところで、割礼の種類としては、心の割礼(申命一〇・16)と、肉身割礼(創一七・10)、万物割礼(レビ九・23)などの三種類がある。

#### 【出エジプト 4 章 24 節～26 節】

さてモーセが途中で宿っている時、主は彼に会って彼を殺そうとされた。その時チッポラは火打ち石の小刀を取ってその男の子の前の皮を切り、それをモーセの足につけて言った、「あなたはまことに、私にとっては血の花婿です」。そこで、主はモーセをゆるされた。この時「血の花婿です」とチッポラが言ったのは割礼のゆえである。

#### 【申命記 10 章 16 節】

それゆえ、あなた方は心に割礼を行い、もはや強情であってはならない。

#### 【レビ記 19 章 23 節】

あなた方が、かの地に入ってもろもろのくだもの木を植えるときは、その実はまだ割礼をうけないものと、見なさなければならぬ。すなわち、三年の間、あなた方には、割礼のないものであって、食べてはならない。四年目には、そのすべての実を聖なる物とし、それをさんびの供え物として主に捧げなければならぬ。しかし、五年目には、あなた方はその実を食べることができるであろう。こうするならば、それはあなた方のために、多くの実を結ぶであろう。わたしはあなた方の神、主である。